

山行番 NO. 1679  
日時 2016. 03. 13 (日) 晴れ・新雪あり  
山域 山梨・小檜山(1713m)＝鼓川温泉コース・差山(妙見山三角点・1358m) 先、見返り岩まで  
コース・ 下土狩発5:00－御坂峠－塩山－鼓川温泉登山口発7:25－テレビアンテナ－牧平山－妙見山8:50－差山・妙見山三角点9:27－見返り岩9:40－差山－妙見山－牧平山－鼓川温泉登山口11:12－鼓川温泉11:30～13:50－下土狩17:30  
標高差 上り＝鼓川温泉登山口約800m～差山1358m＝約558m  
下り＝  
参加者 後藤、勝又陽、室伏、沖、勝又薫、長谷＝6名(秋山風邪・峰田待ち合わせ場間違い不参加)  
参加費 4000－

## 今月の定例ハイクもスノー・ハイキングだ～！！

下土狩を5時に出発、御殿場山中湖線に進むと、道路わきに雪が残り、御坂トンネルを越え、甲府盆地に入ると雪が見えなくなる(山は雪で薄化粧であるが)。

鼓川温泉登山口に7時過ぎに到着し、準備をする。リーダーよりアイゼンの有無を確認、アイゼンの使用は初めてなので、少しワクワクし、7時30分に登山開始。

数分で動物除けのフェンス、野生動物の領域に入る、フェンス沿いにシカの糞がみられた。登山開始から急登が続く、登るにつれて雪が多くなる。30分ほどで、NHKの電波塔に着き、周辺は、檜の林、枝に雪が積もっている。

枝に積もった雪は気温が高いせいか、湿気の割合が多く、少しの風・振動で落ち登山者に、首筋に雪が落ちると身震いする。電波塔から半時間ほど歩き、手書きの標識「ごんぱち」(牧平山)付近で、スパッツ装着する。

標高が上がり雪はますます多くなり、9時頃、(妙見山標識)にてアイゼンを装着。滑ることを気にしないで安心できるが、初めてのアイゼン歩きにくい。9:20頃、富士見台、遠くの富士山はガスで見えない。数分で差山の三角点。また少し歩き急降の鎖場(見返り岩)に(9:30頃着)。

地図で場所を確認これから小檜山まで2時間20分。小檜山の登頂をここで断念、下山を選択(10:00下山開始)

アイゼンを使用しているが、慎重に下山する、アイゼンの中に雪・枯葉がつまり滑る。つまり(ダンゴ)を落としながら下る。11:10頃鼓川温泉駐車場に着く。

今回の山行は、アイゼンを使用し、途中で登頂を断念するという初めての、貴重な経験をすることができました。次の機会、また皆で小檜山にアタックしましょう！雪のない時に。

### その他の記述(後藤)

1. 鼓川コース入り口は、鼓川温泉脇から入る。分かり易い。駐車は温泉の大駐車場利用。

2. 室伏・沖さん、アイゼンを新調。室伏さん、量販店でスパッツ購入。結構、使えるモノ。
3. 道標は、立派なものが続く。尾根は岩っぽく、小岩場が点在する。
4. 妙見山から富士山が遠望出来た。ここの岩場の下りは問題なかった。
5. 見返り岩から最低コルまで標高差約25mの下り。岩場があって鎖が掛かっている。最低コルには林道が通っている。小檜山はそこから約425mの上り。コースタイムと標高差的には無雪期で1時間半だが、途中岩場があるので、2時間20分。今回は雪があったので3時間で、頂上着時間は、予想で12:40分。帰路の上り返し数か所を考えると「撤退」は、適正な判断だった。
6. 秋に「ホテル・フフ山梨」から、捲土重来！！で～す。
7. 町営・鼓川温泉は、弱アルカリで露天もあり、素晴らしい。JAF割引で410-はサイコーです。
8. ただ、靴とアイゼンを洗うべくトイレ外の水道を捻ったが出なかった。池で洗いました。(笑・1)
9. 牧丘周辺は、「室伏一族」出身地らしく、トンネル名称等に「室伏」が多かった。(笑・2)
10. 勝又陽さん、10Kgの歩荷訓練でした。



登山口





今、何処じゃ??!!



妙見山から富士山



沖さんの新調アイゼン



差山三角点



見返り岩から  
小樽山





見返り岩から小樽山